

ありがとう、剣道

茨城県

日立ジュニア剣道クラブ

小学6年 大泉彩葉

私の体はごらんの通り大きいです。横から見れば厚みがあります。この大きな体だと、学校でいじめられてもおかしくないような特ちょうのある体型です。小さい頃は、体型の事でバカにされることもありました。その度に悲しい思いをしたものです。今でも、通りすがりに私の体型の事を言うてくる人もいます。でも、今の私はそんな言葉を気にすることなく、笑い流せるようになり、自分の体型に自信が持てるようになりました。

「私の体型は武器になる」剣道は、大きな体を活かせる競技でした。道場の先生から、「この規格外に大きい体型は一つの才能だ」と感動されたほどです。私の体型を喜んで受け入れてくださった先生に出会い、道場の仲間も出来ました。「すごい破壊力だ」と、仲間達は笑って楽しくネタにしてくれます。ネタにされても、決して嫌な気持ちにはなりません。仲間が悪いイメージでネタにしているわけじゃないことが伝わるから。剣道に出会い、仲間に出会えたことで、私は自信と誇りと勇気をもらえるようになりました。私の人生に大きなきっかけを与えてくれたものが剣道だと言っても過言ではないと思います。

道場の先生から、「体を武器にした剣道をしなさい」と言われます。始めは、大きい体型がコンプレックスだったので、正直、体を活かすとか言ってほしくなかったのです。そもそも体を活かす剣道って何？恥ずかしいだけじゃん。ネガティブにしか受け止める事が出来なかった私は、デリカシーのない先生に嫌悪感を抱きました。いくら道場の先生が身内の叔母とは言え、体型の事を言いすぎです。私の気持ちを察してくれないのか…ずっと思っていました。それでも、「規格外に大きい事は悪いことじゃない。最大の武器になる」さらに先生はこう続けます。「彩葉の大きいのは、ただ大きいんじゃないんだよ。大きいけれど動けるの。動ける大きい剣士はなかなかいないんだから自信持たなきゃね」ほめられてるのか、けなされてるのか…悪い意味ではないとおもいますが、違和感を拭えませんでした。

この大きな体型が、「自慢できるもの」に変わった出来事がありました。それは、全国大会に出場した時の事です。日本武道館に集結した各地区の予選を勝ち抜いた道場。どの選手も強そうに見えます。圧倒されながら試合を待ってた私達に、先生が問いかけてきました。

「会場を見渡してごらん。彩葉より大きい剣士いるか？身長じゃなくて、総合的に大きい選手のことだよ」目をこらして全ての会場を見渡しました。私は内心「またそれ？もう勘弁してよ」そう思いながら聞いていると、レギュラーの一人が「いません。彩葉が一番大きいと思います。彩葉、すごいな」なにがよ！ってツッコミたくなりましたが、純粹に感動している仲間達と先生の様子を見ていたら、私の心がポワーンとしてきました。なんなんだろう、

この気持ち…。

試合が始まりました。対戦相手が三回ほど私に体当たりしたあたりから様子がおかしくなりました。体当たりをしなくなり、泣いているんです。どうしたんだろう？試合は引き分けでした。直後、先生が興奮気味にこう言います。「せっかく相手が怯んでくれたんだからチャンスを活かさなきゃ勿体ねえべよ。ずっと言い続けてきたけど、この体型は全国でも通用するんだってことをいい加減わかれ」先生に言われてそこで理解しました。ずっとコンプレックスだと思っていたこの大きな体が、剣道では相手が泣いてしまうほどの武器になるということ。コンプレックスが自慢できるものになった瞬間でした。

剣道との出会いがなければ、いつまでもコンプレックスを抱いた人生を送っていたことでしょう。今は、ネタにして笑い合える仲間と出会えました。自信と誇りと勇気を与えてくれた道場の環境に恵まれました。全ては、剣道のおかげです。ありがとう、剣道。